

安全データシート

(1) 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ピアシングオイル(水溶性) 寒冷地仕様
 製品コード : SH084131(18L) / SX191916(2L)
 供給者の会社名 : 日酸TANAKA株式会社
 住 所 : 埼玉県入間郡三芳町竹間沢11番地
 担当部門 : FA事業部 国内営業部
 連絡先(電話番号) : 049 (258) 4412
 緊急連絡先 : 同上

(2) 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	: 火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自己発火性液体	区分外
	自己発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分 4
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん)	分類対象外
	急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分 3
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分 2 (肺)
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分 2 ((肺、皮膚)
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
環境に対する有害性	: 水性環境急性有害性	区分外
	水性環境慢性有害性	区分外
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベノレ要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 飲み込むと有害 軽度の皮膚刺激 眼への刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 遺伝性疾患のおそれの疑い 肺の障害のおそれ 長期にわたるまたは反復暴露により肺、皮膚の障害のおそれ 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
成分情報	:
国、地域情報	:
注意書き	
予防策	: この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと 取扱い後はよく手をあらうこと。 保護眼鏡/保護面を着用すること。 保護手袋を着用すること。 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。 保護眼鏡(ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること。 使用前に取扱い説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
対応	: 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 皮膚についた場合: 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズをしていて安易に外せる場合ははずすこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。 取り扱った後手を洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚について場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には選択すること。 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。
保管	: 容器を密閉し、直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で施錠して保管すること。
廃棄	: 内容物/容器等の製品付着物は関係法令に従って、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

: 混合物

成分	配合比	化審法 No,	CAS No,
石油系炭化水素	5.0~10.0%	(9) - 1 6 9 2	6 4 7 4 2 - 5 3 - 6
エチレングリコール	20.0 以下	(2) - 2 3 0	1 0 7 - 2 1 - 1
Na スルホネート	2.0%以下	非公開	非公開
助剤	1.0%以下	非公開	非公開
トリエタノールアミン	0.5%以下	(2) - 3 0 8	1 0 2 - 7 1 - 6
清水	65.0~70.0%	非該当	7 7 3 2 - 1 8 - 5

※ PRTR 法、労働安全衛生法等の記載は (15) 適用法令を参照下さい。

(4) 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取りその指示に従う。

- 吸入した場合 : 多量に蒸気、ミスト等を吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、保温して安静にすること。もし呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合は、速やかに医師の診断をうけること。
- 皮膚に付着した場合 : 全ての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹸水で洗う。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の清浄な流水で 15 分間以上洗い流す。瞼の裏まで完全に洗うこと。速やかに医師の診断を受けて下さい。コンタクトレンズを着用し容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに、医師の診断を受ける。水でよく口をすすぐこと。ただし、意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。この容器に記載された注意事項やラベル、SDS を示す。

予想される急性症状及び遅発性症状

- 吸入した場合 : 咳、めまい、頭痛
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚の刺激
- 眼に入った場合 : 発赤、痛み

応急措置をする者の保護 : 救急者は、保護具を着用する(暴露防止措置の注意事項参照)。

(5) 火災時の措置

- 消火剤 : 泡、粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、霧状の強化液
- 使ってはならない消火器 : 棒状の水
- 消火方法 : 可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。風上から消火すること。小規模火災には、火元を遮断し、消火器を使用して消火して下さい。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具(有機ガス溶防毒マスク、手袋等)を着用する。

(6) 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出液に触れないように作業の際には保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
- 環境に対する注意事項
回収、中和 : 漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。
: 少量の場合、おがくず、ウェス、砂等を用いて吸着させて密閉可能な容器に回収する。
: 多量の場合、土嚢などで流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に吸い取る。
: 着火に備えて、消火器を準備すること。
- 廃棄 : 回収した漏出物は、関係法令に従って廃棄すること。
- 二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

(7) 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 局所廃棄・全体廃棄 : 換気の良い場所で使用して下さい。
- 安全取扱い注意事項 : 周囲での炎、火花又は高温体の使用は避けること。みだりに蒸気を発生させないこと。保護眼鏡、保護面、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
常温で取り扱うものとし、その際、水分、夾雑物の混入に注意する。

保管

- 適切な保管条件 : 火気、火花又は高温体と接触する場所を避けること。通風を良くし、蒸気が滞留しないような冷暗所に保管する。子供の手の届かないところに施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 容器は密栓できるものを用いること。

(8) 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度:

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
石油系炭化水素	設定されていない	3 mg/m ³ (鉱油ミストとして)	5 mg/m ³ (TWA, 鉱油ミストとして)
トリエタノールアミン	設定されていない	設定されていない	5 mg/m ³ (TWA)
エチレングリコール	設定されていない	設定されていない	100 mg/m ³ STEL 天井値(aerosol)

- 設備対策 : ミストが発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。取扱い場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
- 保護具: 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防毒マスク (有機ガス用) を使用する。
- 手の保護具 : 必要に応じて適切な保護手袋を使用する。
- 眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を使用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用する。
- 衛生対策 : 取扱い後は良く手を洗うこと。
- 衛生対策 : 取扱い後は良く手を洗うこと。

(9) 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など : 乳白色液体
- 臭い : 鉱油臭有り
- PH : 9.0 ~ 10.0
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 110℃
- 引火点 : 不検出
- 比重 (密度) : 1.03 g/cm³ (20℃、代表値)
- 溶解度 : 水に易溶
- その他のデータ : 特になし

(10) 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の保管及び取扱いの条件では安定と考えられる。
- 危険有害反応可能性 : なし
- 避けるべき条件 : 情報なし
- 混蝕危険物質 : 強酸化剤、強塩基
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物

(11) 有害性情報

急性毒性(経口): 混合物の ATE Mix が 3986mg/kg となり区分 4 とした。
 急性毒性(経皮)、急性毒性(吸入:ガス)、急性毒性(吸入:蒸気)、急性毒性(吸入:粉じん)、
 急性毒性(吸入:ミスト): 各原料で分類対象外或いは分類できないとの記載有り。
 皮膚腐食性/刺激性: 区分 3 の成分を 10%以下含有のため区分 3 とした。
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2 の成分を 10%以下含有のため区分 2 とした。
 呼吸器感作性: 各原料で分類できないとの記載有り。
 皮膚感作性: 区分 1 の成分を 2.0% 以下含有のため区分 1 とした。
 生殖細胞変異原性: 区分 2 の成分を 10%以下含有のため区分 2 とした。
 発がん性、生殖毒性: 含有成分につき分類できないとの記載有り。
 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露): 区分 2 の成分を 10%以下含有のため区分 2 とした。
 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露): 区分 1 の成分を 10%以下含有のため区分 1 とした。
 吸引性呼吸器有害性: 区分 1 の成分を 10%以下含有のため区分 1 とした。

○成分別有害性情報

石油系炭化水素として	急性毒性	: 経口毒性	ラット LD50 > 5000mg/Kg
トリエタノールアミンとして	急性毒性	: 経口毒性	ラット LD50 = 8680mg/Kg
	刺激性	: 眼に強い刺激あり	皮膚に刺激あり
エチレングリコールとして	急性毒性	: 経口毒性	ラット LD50 4000~10,200mg/kg

(12) 環境影響情報

製品として

生態毒性	: 知見なし
残留性・分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし
オゾン層への有害性	: 有用な情報なし

各成分の環境有害性情報

石油系炭化水素	: 現在のところ有用な情報なし
トリエタノールアミン	: 藻類 (セネデスマス) の 96 時間 ErC50=169mg/L

(13) 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。

残余廃棄物	: 本製品は環境中に放出してはならない。都道府県などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
容器・包装	: 廃棄する際は、中身を使い切ってから捨てること。内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託すること。

(14) 輸送上の注意

国連分類	: 非該当
国連番号	: 該当なし
指針番号	: 該当なし

国内規制

陸上輸送	輸送の際は、容器の漏れのないことを確かめ、荷崩れのないように処置を講ずる。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

(15) 適用法令

- 働安全衛生法（通知対象物）：鉱油(別表9 No,168) 5~10%含有
トリエタノールアミン(別表9 No,381) 0.5%以下含有
エチレングリコール（別表9 No,75）20%以下含有
- 化審法（優先化学物質）：トリエタノールアミン 0.5%以下含有
毒劇物及び劇物取締法：該当せず
消防法：該当せず
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：該当せず
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
海洋汚染防止法
水質汚濁防止法
下水道法
（注意）都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合がありますので、詳細は自治体にご確認下さい。

(16) その他の情報

本文書は製品の安全情報を記したものです。品質保持上の諸要件については技術資料・仕様書等をご参照下さい。保護具に関する詳細については(社)日本保安用品協会【TEL:03-5804-3125】にお問い合わせ下さい。

(引用文献)

- 1) 化学物質等安全データシート JIS Z 7253
- 2) 産業中毒便覧
- 3) 化学物質の危険・有害便覧
- 4) 溶剤使覧
- 5) 急性中毒処理の手引き
- 6) 中毒ハンドブック：廣川書店
- 7) GHS 分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)
- 8) 中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ
- 9) 各原料安全データシート

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取扱を対象としたものなので、特殊な取扱の場合には、ご配慮をお願いいたします。又、危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので取扱は十分注意して下さい。

この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。